

征服者たち(コンキスタドール)→ラテンアメリカを征服したスペイン人たち

16世紀 ユカタン半島マヤ文明、スペイン人に征服される

1521年 コルテスによりアステカ王国滅亡(首都テノチティトラン)
メキシコ征服

1533年 ピサロによりインカ帝国滅亡→首都クスコを破壊しリマを建設

1545年 ポトシ銀山発見→インディオ(原住民)を奴隷のごとく使用

※ドミニコ派修道士ラス=カサスはインディオの奴隷化阻止に尽力



その他の探検者たち

カボット父子・・・イタリア人 イギリス王の支援で北アメリカ沿岸探検

バルボア・・・スペイン人 パナマ地峡横断(1513年) 太平洋へ

スペインとポルトガルの勢力分界線

①植民地分界線(教皇子午線)1493年 教皇アレクサンデル6世設定

内容:ヴェルデ岬西方の子午線 西スペイン 東ポルトガル

②トリデシリヤス条約 1494-1506年

内容:西アフリカセネガル沖の海上の子午線に沿った線

西側スペイン 東側新領土ポルトガル

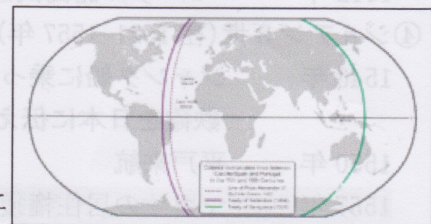
→ブラジルがポルトガル領に決定

③サラゴサ条約 1529年

内容:モルッカ諸島の東を通る子午線を第2の境界とした

→モルッカ諸島をスペインがポルトガルに売却

フィリピンはスペイン領へ



大航海時代が与えた影響

商業革命

①アジアとの直接貿易で、東方貿易のイタリア諸都市が没落

⇒大西洋沿岸都市

リスボン、パロス、セビリヤ、アムステルダム、アントワープなどが繁栄した

②価格革命

新大陸からの大量の銀(ボリビアのポトシ銀山など)が流入し、銀価格が下落、

ヨーロッパ諸国の物価を押し上げた

⇒固定地代の封建貴族が没落し、封建社会崩壊を促進させた

③資本主義の発達

広大な海外市場は商工業の発達を促進させた

西ヨーロッパ→毛織物・麻織物・絹織物などの企業的商工業者が成長

東ヨーロッパ→西ヨーロッパに穀物を輸出するため、農場領主制(グーツヘルシャフト)が

広がり、再版農奴制といわれる農奴支配の強化が行われた

新大陸→トマト・ジャガイモ・とうもろこし・かぼちゃ・タバコ

新大陸←毛織物・麻織物・奴隷